

平成29年度 国富町立本庄小学校 学校関係者評価書

4 段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営ビジョン

(たくましく生きる本庄小の子ども) 知・徳・体ともに調和のとれた実践力のある児童の育成 (コンプライアンス意識の徹底) 児童・保護者・地域に信頼される学校づくり
 学校の教育目標：豊かな心を持ち、たくましく生きる本庄小の子どもたちの育成

※自己評価は職員・保護者・児童の評価 ●は課題・次年度への方策等

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	■目標 学力向上と読書活動の推進(考える子) ■手段・ゴールイメージ 1 基本的な学習習慣の指導(家庭との連携) 2 日々の授業改善(教えて考えさせる授業・主体的・対話的で深い学び・分かる、できるまでの共通実践、4つのチェックポイントと授業改善)と教職員の教育論文の作成 3 本庄っ子タイム、家庭学習の徹底 4 読書の日の充実	1	● 学習のきまりについては、年度当初だけでなく定期的に振り返りと見届けを行う。	2.8	3.0	・ 授業を参観させていただいたが、子どもが学習内容を理解していないまま授業が進められていた場面があった。少人数指導の工夫など理解できていない子どもへの対応を考えていただきたい。 ・ 学習は、「分かる、できる」と楽しい。小学校の段階から子どものつまずきに気付き、しっかりとした指導をするとともに小中の引継をするなどの対応をしていただきたい。 ・ 読書活動の推進に取り組んでいるようだが、読書の時間にふさわしい子どもの本選びの指導も工夫していただきたい。
		2	○ 本校独自のチェックシートを作成、活用したことにより日々の授業改善が図られつつある。			
		3	● 「家庭学習の手引き」については、今後も家庭と連携し、積極的な活用を図り、学力向上につなげていく。			
		4	○ 朝の読書活動や読み聞かせにより、児童の読書意欲が高まってきている。また、毎月の図書便りの発行を通して読書への興味・関心を高めるとともに多読の児童を称賛することができた。			
徳育	■目標 思いやりの心と基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成(親切な子) ■手段・ゴールイメージ 1 規範意識を高める指導の徹底(あいさつ、靴の整頓、4つの無言の場の指導) 2 道徳授業・常時指導の充実 3 いじめ等に関する教育相談、生徒指導の充実 4 清掃指導の充実	1	● あいさつについては、「あかるく いつでも さきに つたえる」をキーワードとし、全職員が児童に本気がかかわっていくとともに家庭・地域とも連携して指導の徹底と称賛を繰り返していく。	3.1	3.0	・ あいさつの基本は家庭である。家庭でしっかりとしたあいさつができていれば子どももあいさつができる。 ・ 本庄小の子ども達のほとんどは、よくあいさつをしてくれる。 ・ いじめ防止に取り組んでいただいているが、教師の配慮に欠ける言動により、子どもの心が傷つくことがある。十分留意していただきたい。 ・ 掃除用具を使用した掃除の体験が減ってきている。学校の清掃活動は意義があるので、是非継続していただきたい。
		2	○ 道徳の参観日を実施し、保護者と道徳の授業の重要性について共通理解することができた。			
		3	○ 全職員が一枚岩となり、児童の悩み、困り感等の早期発見と早期対応に努めることができた。			
		4	○ 全校朝会での具体物や映像を活用した指導により、清掃場所での指導が充実し、児童が進んで清掃活動に取り組むようになっている。			
体育	■目標 体力・健康づくりの実践と食育及び安全教育の推進(がんばる子) ■手段・ゴールイメージ 1 体力向上プランの確実な実践(重点指導種目全国平均以上) 2 保護者と連携した保健指導(むし歯治療率70%以上、自力登校の推進) 3 危機管理体制の確立と安全指導の徹底 4 食育の推進(食に関する指導、弁当の日の実施)	1	○ 全児童がサーキット運動に楽しく取り組んだことで、柔軟性、俊敏性、瞬発力を高める活動が充実した。	3.1	3.3	・ 運動会の様子を見させていただいたが、子ども達が一生懸命に運動をしたり、学年が下学年のお世話をしたりするなどとても良かったと思う。 ・ 保育園でも正しい座り方ができないなどの実態がある。足の力を高めたり体幹を鍛えたりしていく必要がある。 ・ むし歯の治療率が64.8%ということであるが、現在、子ども医療費の無償化が適応されている。治療率を更に高めるために、今の期間を最大限に利用することのよさを継続して周知していただきたい。 ・ 自転車運転時には、ヘルメットを着用するとよいと思われる。
		2	● むし歯治療については、今後も粘り強く保護者への啓発を行っていく。			
		3	○ 生徒指導主事を中心とした登下校指導や登校班長への具体的な指導を通して、児童の交通安全意識が高まりつつある。 ● 予算を伴う施設・整備の補修等については、計画的に継続して町教育委員会へ要望を上げていく。			
		4	○ 全学年において本庄中学校の栄養教諭と連携した「食育」の授業(学級活動及び家庭科)を行い、指導内容の充実を図ることができた。			
その他	■目標 家庭・地域と連携した教育活動の推進(きまりよい子) ■手段・ゴールイメージ 1 学校だより、家庭への発出物の活用(学校経営方針の徹底、フィードバック) 2 あいさつ運動の実践 3 くにとみ教育ビジョンの推進(自立 ふるさと つながり 元気) 4 学校評価の活用 5 コンプライアンス意識の徹底とOJTの推進	1	○ 月1回の「せんだん」発行とほぼ毎日更新のホームページにより、積極的に学校運営に係る情報発信をすることができた。	3.1	3.0	・ 校区内の各地区では、様々な行事が行われている。このような行事に各地区担当の教職員が参加することで、情報交換の場ともなり、教職員と保護者や地域とのつながりが一層深まると考える。 ・ 安全面の配慮から校門が閉ざされる学校がある中で、国富町や本庄小は、学校が開かれており学校に来ると安心できる。このような環境であって欲しい。
		2	○ 計画通りのあいさつ運動を実施することができた。			
		3	○ 全職員がPTA活動、地域の行事等に主体的に参加することができた。			
		4	○ 学校評価アンケート等の結果を踏まえ、次年度の教育課程編成を行うことができた。 ○ 今後も服務規律遵守に努め、風通しの良い職場環境づくりを推進していく。 ○ OJTの推進に努め、全教職員が町の教育論文作成に取り組むことができた。			
次年度の方向性についての校長所見	○ OJTを機能させ日々の授業改善を図ることで、教職員の授業力を更に高めるとともに、家庭との連携を密にしながら児童一人一人の学力向上に努める。 ○ 「元気いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい」を合い言葉とし、いじめや不登校のない思いやりのある学校づくりに努めるとともに道徳教育の充実を図る。 ○ 家庭と連携を図りながら、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん、むし歯予防と治療等)の定着と体力向上に向けた取組のより一層の充実を図る。 ○ 家庭や地域の声に耳を傾け、家庭・地域から一層信頼される学校づくりを目指す。					